

みなさんこんにちは。

さやかこども支援センターは、埼玉県から指定を受け、放課後等デイサービス事業「キッズクラブ」・児童発達支援事業「あみい」を運営しています。

厚生労働省は、平成 27 年 4 月に「放課後等デイサービスガイドライン」、平成 29 年 7 月に「児童発達支援ガイドライン」を策定し、事業者が支援の質の向上を図るため、自ら提供するサービスの質の評価及び改善の評価を行うとともに、事業所を利用する保護者による評価を受け、その結果を公表することを義務付けました。

そこで、さやかこども支援センターでは令和 6 年度の「保護者向けアンケート」及び「事業者における自己評価」を下記のとおり実施しました。

さやかこども支援センターでは、みなさまからいただいたご意見やご要望について、対応策を職員間で検討し、今後、取り組んでいきます。

保護者のみなさまには、アンケートにご協力いただき、貴重なご意見やご要望をたくさんいただき心より感謝申し上げます。

記

◎放課後等デイサービス「キッズクラブ」

1、事業者における放課後等デイサービス自己評価

- ① 実施時期 令和 6 年 12 月 16 日～令和 6 年 12 月 28 日
- ② 事業所検討会実施日 令和 7 年 2 月 20 日
- ③ 結果～別紙「放課後等デイサービス・さやかこども支援センター（キッズ）事業所における自己評価結果（公表）」
- ④ アンケート実施職員数（前年度対比）

年 度	人 数
令和 5 年度	10
令和 6 年度	9

- ⑤ 出された意見数（前年度対比）

年度の意見数	件 数
令和 5 年度意見数	50
令和 6 年度意見数	57

- ⑥ 質問毎の回答数及び回答率（前年度対比）

年度	は い	どちらともいえない	いいえ	回答数
令和 5 年度	347	73	16	436
	79.59%	16.74%	3.67%	
令和 6 年度	321	57	17	395
	81.27%	14.43%	4.30%	

2、保護者向けアンケート

- ① 実施時期 令和 6 年 12 月 16 日～令和 6 年 12 月 28 日

- ② 事業所検討会実施日 令和7年2月20日
- ③ 結果～別紙「放課後等デイサービス・さやかこども支援センター（キッズ） 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」
- ④ アンケート提出数及び回収率（前年度対比）

	配布数（戸）	提出数（戸）	提出率（％）
令和5年度	17	11	65
令和6年度	23	9	39

- ⑤ 出された意見数（前年度対比）

年度の意見数	件数
令和5年度意見数	6
令和6年度意見数	1

- ⑥ 質問毎の回答数及び回答率（前年度対比）

年度	はい	どちらともいえない	いいえ	回答数
令和5年度	167	26	1	194
	86.08%	13.40%	0.52%	
令和6年度	131	13	0	144
	90.97%	9.03%	0%	

◎児童発達支援「あみい」

1、事業者における児童発達支援自己評価表

- ① 実施時期 令和6年12月16日～令和6年12月28日
- ② 事業所検討会実施日 令和7年3月4日
- ③ 結果～別紙「児童発達支援・さやかこども支援センター（あみい）事業所における自己評価結果（公表）」
- ④ アンケート実施職員数（前年度対比）

年度	人数
令和5年度	7
令和6年度	7

- ⑤ 出された意見数（前年度対比）

年度の意見数	件数
令和5年度意見数	45
令和6年度意見数	39

- ⑥ 質問毎の回答数及び回答率（前年度対比）

年度	はい	いいえ	回答数
令和5年度	271	62	333
	81.38%	18.62%	
令和6年度	271	41	312
	86.86%	13.14%	

2、保護者等からの事業所評価のアンケート

- ① 実施時期 令和6年12月16日～令和7年1月10日
- ② 事業所検討会実施日 令和7年3月4日
- ③ 結果～別紙「児童発達支援・さやかこども支援センター（あみい）保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」
- ④ アンケート提出数及び回収率（前年度対比）

年度	配布数（戸）	提出数（戸）	提出率（％）
令和5年度	40	24	60.00
令和6年度	45	29	64.44

- ⑤ 出された意見数（前年度対比）

年度の意見数	件数
令和5年度意見数	60
令和6年度意見数	31

- ⑥ 質問毎の回答数及び回答率（前年度対比）

年度	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	回答数
令和5年度	500	7	5	36	548
	91.24%	1.28%	0.91%	6.57%	
令和6年度	574	24	7	56	661
	86.84%	3.63%	1.06%	8.47%	

令和7年3月7日

さやかこども支援センター

児童発達支援事業所・さやかこども支援センター(あみい)
事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和7年3月7日

実施時期 令和6年12月16日～令和6年12月28日 アンケート実施職員数8名

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	1	・ホールでつい立を使って	
	② 職員の配置数は適切であるか	5	2	・勤務の都合で日によってばらつきがあるが工夫できている。	手薄と感じる時も課題を工夫して活動する。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6	1	・パーテーション等利用している。 ・マカトンサインを使って言葉の理解を促している。	個別のスケジュールボードを作成する。 個別課題の準備、提示をカラーボックスを用いて理解しやすくする。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6	1	・毎日消毒をしている。	必要のないものは片付ける。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	7			
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7			
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7			
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	2		
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7			
⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	7		・NCチェックを利用している。 ・NCチェックで評価しながら課題を立てている。		

適切な支援の提供	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7				
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7			<ul style="list-style-type: none"> ・就学前は教育委員会へ教育相談に同行している。 ・来所された時には相談援助を行い、兄弟の相談にもっている。 ・所属の園の様子も観察している。 	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7				
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7				
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7			<ul style="list-style-type: none"> ・週、月ごとに計画している。 ・月ごとに変えている。 	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	7				
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	1	6		<ul style="list-style-type: none"> ・確認はしている。 	受け入れと並行し、登所した児童を見守りながら朝の打ち合わせを行う。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	3		<ul style="list-style-type: none"> ・職員間で情報共有している。 ・週2回のカンファレンス有り。専門職来所時はカンファレンス有り。その他必要に応じて行っている。 	週2回カンファレンスを行う。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7				
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	7				
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7				
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	7				

⑳	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				
㉑	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				
㉒	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6	1	・幼保への移行はない。	
㉓	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7		・教育委員会、支援学校、または保護者から希望がある場合は小学校と行っている。	
㉔	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	1		
㉕	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	4	・全員幼保へ通園している。	
㉖	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加しているか	4	2	・子ども支援連絡会に参加している。	
㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7		・支援記録システム(ケアコラボ)で伝えている。	支援記録システム(ケアコラボ)を読んでいない保護者へ担当者から連絡をする。
㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	2	5		
㉙	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7			
㉚	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	7			
㉛	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7			

保護者への説明責任等	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	4	・納涼祭を開催し保護者と一緒に参加してもらっている。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7		
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7		
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか	7		
	③⑨	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7		・視覚支援 ・ケアコラボを使用
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6	1	
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	6		・避難訓練を月に一度行っている。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6		
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	5	1	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか		5	・食べ物の提供はしていない。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	1	・ケアコラボ上で法人全体で共有している。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6		
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	6		
その他	④⑧	児童発達支援ガイドラインは一読しましたか	6		

公表: 令和7年3月7日

実施時期 令和6年12月16日～令和7年1月10日 配布世帯 45世帯 回収29世帯 回収率 64%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	26	2		1	・十分に体を動かしている。	ホールでの活動も行っています。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	26			3	・少人数や個々での関わりを持ってくれる。	出来る限りの職員を配置しています。月に一度、心理士のアドバイスを受けています。定期的に職員全員が研修を受けています。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	27	1		1	・目で見分けるようになっている。	視覚支援を行っています。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	27	1		1	・清潔である。	使用後は清掃、消毒を行っています。
適切な 支援の 提供	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	29				・作成されている。	ニーズや課題に沿った計画を作成しています。
	⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	27			2	・設定されている。	指導プログラムをもとに設定しています。
	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	27			2	・行われている。	計画に基づいた支援を行っています。
	⑧ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	26	1		2	・新しい取り組みも行っている。	集団遊びは月ごとに変わっています。個別課題も発達にあわせて変わっています。
	⑨ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	22	2		5	・こども園に通っている。	利用されているお子さんは保育所やこども園、幼稚園に在籍されています。
保護者 への 説明 等	⑩ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	29				・説明された。	契約時に説明を行っています。
	⑪ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がされたか	28	1			・説明された。	児童発達支援計画作成時に説明を行っています。
	⑫ 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	20	4	1	4	・声掛けの仕方などいろいろと教えていただきありがたく思っています。 ・行われている。	ペアレントトレーニングは行っていません。
	⑬ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、共通理解ができていくか	27	1		1	・今日の様子を分かりやすく伝えてもらい、どんなことが出来たのか等理解が出来る。	支援記録システム(ケアコーポ)を使って伝えています。

	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	25	2		2	・見学に行くと子の様子等話してくれます。 ・行われている。	保護者が来所された際に伝えていきます。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	15	4	3	7	・保護者会等に参加していないため保護者同士の連携はない。	保護者会は行っていません。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	26			3	・対応されている。	相談があった際には対応しています。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	27			2	・子どもからどんな事を行ったのか話すことはないが、毎回のメールでどんなことをやったのかわかるし、持ち帰ってきたプリント等で「これやった」と本人が言うこともある。	日々の活動は支援記録システム(ケアコラボ)を使って伝えていきます。マカトンサインや視覚支援を取り入れています。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	26			2	・毎月配布される紙を見て他の事業の行事予定などもわかる。	毎月『こども支援センターだより』を発行しています。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	24			4	・注意している。	十分注意をしています。
非常時の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	20		1	7	・実施していただいているのだろうなと思っています。最初に説明していただいたと思うのですが、しっかりと覚えていなかったの…。 ・インフルの子が多い時に休みの連絡がありよかったです。	マニュアルを作成し、訓練を実施しています。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	21			7	・行った事があるのかないのか思いつけない。	月に一度さまざまな状況で想定し避難訓練を行っています。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	22	4		2	・利用の曜日が待ち遠しいようです。 ・毎回楽しみにしています。ありがとうございます。 ・「行きたくない」と言ったことがない。 ・何度か「行きたくない」、「怖い」等の発言あり。	
	㉓	事業所の支援に満足しているか	27	1			・いつも優しく対応してくださり、話やすく、聞いてもらい感謝しています。 ・満足しています。	
			574	24		7	56	661

◎ この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

公表: 令和7年3月7日

実施時期 令和6年12月16日～令和6年12月28日 (アンケート実施職員数 9名)

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	3		・利用者の体調等の変化によりクラス、部屋を変えることで安定して過ごせていると思う。	部屋の配置や使い方を検討し、対応していく。
	② 職員の配置数は適切であるか	2	6	1	・人手が足りない時には他部署の職員に応援を頼む。 ・クラス2, 3の利用者数により臨機応変に支援している。	職員が少ない時には、子ども支援センター内や他事業所に応援を依頼して適切な配置数を確保する。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	8		1		車椅子の児童はなるべく多目的トイレの水道を使用して手洗いを行う。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	8	1		・職員間で話し合っている。	PDCAサイクルに沿って改善していく。改善後の確認もしていく。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	9			・毎年実施している。	回収率が上がるよう依頼をしていく。ご意見を参考にし改善をしていく。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	3		・毎年公開している。	ホームページで毎年公開していく。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6	2	1		今後実施を検討していく。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8	1		・オンライン、動画の研修も活用している。	積極的に研修に参加していく。外部研修の情報等も職員間で共有していく。
	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	9			・年に2度面談し、実施している。	今後も適切にアセスメントや分析を行い、個別支援計画書を作成していく。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7	2			パインランドⅡを使用したアセスメントを定期的に行っていく。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	7	1	1	・職員間で話し合っている。	今後も職員間で話し合いながら、プログラムの立案をしていく。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7	4		・職員間で話し合っている。	今後も職員間で話し合いながら、様々な活動が提供できるようにしていく。

適切な支援の提供	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7	2			平日、休日、長期休暇に合わせて、今後、より細かく設定をしていきたい。	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	9				児童に合わせて、個別活動と集団活動を検討し実施していく。	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	3			・支援開始前に確認を行っている。 ・内容に関しては事前に決定している。 ・良くできていると思う。	一日支援日は事前に確認する点を決めておき、当日は速やかに打ち合わせができるようにする。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	2	5	2		・退社時間が個々に異なるので皆での打ち合わせは難しいが、報連相をしてから退社するように心がけている。 ・次の日に行う事が多い。 ・引継ぎを行っている。	支援終了後、引継ぎ用ボードを使用しながら、引き継ぎ事項を職員間で共有していく。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9					客観的な事実を記録し、検証・改善につなげていく。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	9				・年に2度以上行っている。	今後も保護者面談をしモニタリングを行いながら、計画の見直し・作成をしていく。
関係機関や保護者との連携	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	8					今後もガイドラインの基本活動を組み合わせた支援を行っていく。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	9				・クラス担当が参加するようにしている。	今後も児童の様子や状況を理解している職員が担当者会議等に参加していく。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	8	1			・年間予定、月の予定を確認し、対応している。	事前に予定を確認しながら、予定の変更等にも迅速に対応していきたい。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	3	5	1		・違う部署で受け入れている。	医療的ケア児を受け入れる際は主治医と連絡体制を整えていく。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	9				・必要に応じ情報共有をしている。	今後も必要に応じ情報共有をしていく。
㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	9				・必要に応じ情報提供をしている。	今後も必要に応じ情報共有をしていく。	

連携関係機関や保護者との連携	②⑤	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7	2		・研修に参加している。	今後も研修情報を確認し、積極的に参加していく。
	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		3	6		地域の情報収集をしつつ、今後実施を検討していきたい。
	②⑦	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	4	4	1		参加した職員は、内容等を事業所内で共有していく。職員向けの企画等には広く参加していく。
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9			・面談などもあり、信頼関係の構築が出来ている。 ・送迎時や面談時に児童について共有している。 ・細かな様子はケアコラボも活用している。	今後も児童の様子を日頃から細かく伝え合い、保護者と共通に理解できるようにしていく。
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	4	3	・ペアレントトレーニングの視点から助言を行っている。	今後も必要に応じ、ペアレントトレーニングの視点から助言を行っていく。
保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7	2			契約時等に丁寧な説明を行い、質問等があった際は随時対応をしていく。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9			・希望に応じ、面談を設定している。	今後も随時相談を受け付けていく。場合により、専門職の助言を受けられるようにする。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	8	1		・保護者会で先輩保護者の話を聞く機会がある。 ・保護者会等、年に数回保護者同士が交流出来る機軸を設けている。 ・保護者会を毎年行っている。	保護者間の連携を促せるようニーズを確認しながら、実施していく。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9			・迅速な対応を心掛けている。	苦情があった際には、迅速丁寧に対応していく。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9			・こども支援センター頼りを毎月発行している。	今後も毎月こども支援センターだよりを発行し、情報を発信していく。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	9				個人情報に注意しながら業務を行っていく。
③⑯	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9			・わかりやすい伝達を心掛けている。	日頃から児童・保護者に分かりやすい伝え方を工夫していく。	

	③⑦ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	7	2		・法人として行っている。	今後も法人行事として行っていく。
非常時等の対応	③⑧ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	9				折に触れ、マニュアルについて保護者へ説明を行っていく。
	③⑨ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9			・毎月避難訓練を行っている(火災、地震、土砂、引き渡し)。	今後も定期的に、火事、地震、土砂災害の避難訓練を実施していく。色々な想定をしていく。
	④⑩ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9			・毎月の会議で話し合いをしている。 ・毎年法人として研修会を行っている。	全職員、毎年虐待防止研修に参加している。毎月、話し合いをしながら虐待防止に取り組んでいく。
	④⑪ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	9			・毎月身体拘束について話し合いを持っている。	毎月身体拘束について話し合いを行う。止む終えず身体拘束をする場合には、保護者へ説明し、個別支援計画書への記載をしていく。
	④⑫ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	9			・おやつ等を別の物を提供して対応している。	今後も指示書に基づき、アレルギー対応を行い、アレルギーのある児童も安心しておやつを食べられるようにする。
	④⑬ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9			・子どもが異物を口に入れないように気を付ける(小さなゴミ等)。 ・ケアコラボにて共有している。	ケアコラボ上や会議にて共有・確認等を行っていく。
その他	④⑭ 放課後等デイサービスガイドラインを一読しましたか	7				

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

放課後等デイサービス事業所・さやか子ども支援センター(キッズ)保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和7年 3月 7日

実施時期 令和6年12月16日～令和6年12月28日 (配布数25 回収8 回収率 32%)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	7	1			スペースを有効活用できるように必要に応じ、配置を変更する。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	7	1			職員が少ない時には事業所内外に応援を依頼し適切に配置できるようにする。今後も研修等に参加し、専門性の向上を目指す。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	8				今後も配慮が必要な所は随時対応していく。
適切な 支援の 提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	8				今後も定期的に面談をしてアセスメントを行い、児童に合った計画が作成できるようにしていく。
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	8				職員間で意見を出しながら、活動プログラムを検討し支援して行く。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	7			地域の情報収集も行いつつ、検討していく。
保護者 への 説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	8				契約時に説明をしているが、今後も質問等があれば随時対応していきたい。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	7	1			今後も保護者の方と児童について情報を共有し、共通理解できるように務める。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	8				心配な事等があれば、随時相談を受け付けていく。必要に応じ、専門職の助言をもらったり、専門職との相談も調整していく。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	7	1			ニーズに合わせながら、保護者間の連携を促せるよう、企画を考えていく。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8				苦情があった場合には迅速かつ適切な対応に努めていく。

	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	8			児童や保護者に出来るだけ分かりやすく伝達できるよう工夫していく。
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	8			今後も毎月子ども支援センターだよりを発行していく。自己評価の結果については、法人のホームページ上で公開する。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	8			今後も個人情報の取り扱いに十分注意しながら業務に当たっていく。
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	7	1		キッズクラブの行事や保護者会の際にも周知・説明をしていきたい。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	8			今後も火事、地震、土砂災害等を想定し、定期的に避難訓練を行っていく。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	7	1		親子ともに大満足です。 子ども達が楽しく安心して利用できるような雰囲気づくり、楽しめる活動内容を提供できるように努めていく。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	8			保護者の方も安心して利用でき、支援内容にも満足していただけるような対応を心掛けていく。

◎ この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。